

# 決 算 報 告 書

国立大学法人 横浜国立大学

(様式2)

## 平成22年度 決算報告書

国立大学法人横浜国立大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	8,385	8,385	—	
施設整備費補助金	1,452	1,189	△262	(注1)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	583	763	179	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	47	45	△2	(注3)
自己収入	5,963	6,285	322	
授業料、入学料及び検定料収入	5,854	5,939	85	(注4)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	109	345	237	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,806	1,716	△88	(注6)
引当金取崩	—	0	0	
長期借入金	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	—	—	—	
旧法人承継積立金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	263	263	(注7)
計	18,236	18,649	413	
支出				
業務費	14,348	14,434	87	
教育研究経費	14,348	14,434	87	(注8)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	1,499	1,234	△264	(注9)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	583	773	190	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,806	1,399	△406	(注11)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	18,236	17,842	△394	
収入－支出	0	807	807	

○予算と決算の差異について

- (注1) 平成22年度施設整備費補助金の計画変更承認により262百万円の減少となっています。
- (注2) 前年度末時点で未収金であった革新的実用原子力技術開発費補助金の入金、科学技術振興調整費が受託研究から補助金に切り替わったこと、並びに22年度における新規採択の増等により、179百万円の増加となっています。
- (注3) 平成22年4月1日付交付決定通知額が、年度計画作成時点での見積額よりも2百万円の減少となっています。
- (注4) 入学料収入が44百万円の増加、授業料収入が34百万円の増加、検定料収入が6百万円増加の計85百万円の増加となっています。
- (注5) 科学研究費補助金間接経費等の収入、特許料収入及び有価証券利息収入等の増加により、237百万円の増加となっています。
- (注6) 寄付金収入が98百万円の減少、受託研究収入が131百万円の減少、共同研究が61百万円の減少、受託・共同事業収入が104百万円の減少、一方で前年度以前の収入を財源として受託・共同研究収入が38百万円の増加、寄附金収入が269百万円の増加、計88百万円の減少となっています。
- (注7) 期中において前中期目標期間繰越積立金の承認を受けたことにより、263百万円の増となっています。
- (注8) 人件費については雇用見送り、人事院勧告による支出減及び退職者が見込みよりも少なかったことにより780百万円の減少、期中において人件費の減少分を教育環境の整備・改善充実に充当したことにより物件費が603百万円の増加、(注7)により、前中期目標期間繰越積立金取崩額の増加による263百万円の増加、計87百万円の増加となっています。
- (注9) (注1)及び(注3)により264百万円の減少となっています。
- (注10) (注2)による理由により190百万円の増加となっています。
- (注11) (注6)記載の収入減により406百万円の減少となっています。